

2020/09

No.

家具

1/2

06

仙台フォーラス CLTモクまちベンチ



プロジェクト写真



製品概要

材 質：宮城県産杉CLTパネル

サ イ ズ：L4,000×W1,200×H90mm

所 在 地：宮城県仙台市青葉区

完 成：2020年9月18日



製作メンバー

展示協力：株式会社 OPA

設 計：せんだいヤタイププロジェクトチーム

制 作：CLT パネル製造/西北プライウッド株式会社

CLT プレカット/登米町森林組合

CLT ベンチ制作・組立/せんだいヤタイププロジェクトチーム

協 力：gallery TURNAROUND（関本欣哉）、熊谷海斗

協議会 取り組み

市民に身近な場所でのCLTの活用について検討する中で、協議会メンバーであるせんだいヤタイププロジェクトチームを中心として、中心市街地での活用の可能性が検討された。せんだいヤタイププロジェクトチームでは、「モクまち」という言葉をテーマに、市民が木材に触れる機会を増やす事で想像力が刺激されるような拠点をCLTを使って作成し、中心市街地に設置する事を考案し、CLTモクまちベンチを設計した。

様々な設置場所を検討する中で、仙台フォーラスへ設置する事となった。仙台フォーラスは、昭和59年（1984年）の開業からファッションビルとして仙台の若者文化の発信拠点として市民に親しまれてきた。近年では、仙台市内の現代アートギャラリーと協働で仙台に縁のあるアーティストによる展示が行われ、さらには周辺商店街の活性化の活動の拠点機能を担う可能性を模索するなど、消費活動を越えたクリエイティブ拠点としての活動も大いに注目されているところである。CLTのもつ社会性が、仙台フォーラスのそれらの活動と共鳴する形で今回の本協議会とのコラボレーションが実現した。

設計趣旨

CLTモクまちベンチの1つの特徴は内部に収納がついている点だ。中心市街地で、ものづくりワークショップなどのモクまち活動を定期的実施する事を想定すると、材料や道具、什器などの収納場所が必要となる。このベンチは、CLTの耐力壁で囲まれた部分が空洞となっており、収納機能を備えている。

次に、店内のレイアウトの変更などに合わせて柔軟に階をまたいで設置場所を移動させられるようにするため仙台フォーラスの搬入用エレベータからサイズが決定された。

そして、様々な場所に設置される事を想定し、各パーツをビスなどで固定せず、ボルトと金物によって接合しており、解体と再設置が容易にできるようにした。できるだけ撤去と再設置を容易にする事で、設置場所を変えながら長期的に使用される事を狙った。CLTは受け材と構造を兼ねるのでパーツ数を減らす事ができ、また、杉材を使用しているため1つ1つのパーツは軽量で、特別な輸送器具を使わずとも搬入組み立てが可能である。



設計者



所属：せんだいヤタイププロジェクトチーム

名前：大平啓太

- ・青森県出身
- ・せんだいヤタイププロジェクトチーム代表

アクセス

- ・JR 仙台駅より徒歩 15 分
- ・地下鉄南北線広瀬通駅西 4 出口より徒歩 1 分
- ・地下鉄東西線青葉通一番町駅より徒歩 4 分
- ・東北自動車道 仙台宮城インターチェンジより車で約 10 分

住所：

〒980-8546

宮城県仙台市青葉区

一番町3-11-15

